



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社イワキ 上場取引所 東  
コード番号 6237 URL <https://www.iwakupumps.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤中 茂  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 井上 誠 TEL 03-3254-2931  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	33,683	24.2	4,525	139.5	5,124	48.8	3,618	△10.1
2023年3月期第3四半期	27,126	13.4	1,889	△2.9	3,444	32.1	4,024	96.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,045百万円 (△2.5%) 2023年3月期第3四半期 5,173百万円 (120.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	164.23	—
2023年3月期第3四半期	183.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	50,367	32,789	64.7
2023年3月期	45,251	28,869	63.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 32,568百万円 2023年3月期 28,706百万円

(注) 2024年3月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	27.00	—	34.00	61.00
2024年3月期	—	21.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	35.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日開示の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を合わせてご参照ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,855	△0.7	5,063	29.2	5,811	35.1	3,904	25.3	177.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日開示の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を合わせてご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：有

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	22,490,910株	2023年3月期	22,490,910株
2024年3月期3Q	410,761株	2023年3月期	519,393株
2024年3月期3Q	22,031,872株	2023年3月期3Q	21,949,193株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトにて同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(企業結合等関係)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、個人消費をはじめ、設備投資や生産などに持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調にあり、同様の傾向が続くことが期待されます。一方で、世界的な金融引き締めや中国の先行き懸念など、海外景気下振れによる国内景気への影響リスクは依然として残っており、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況の下、企業価値向上に向けた取り組みとして、「ソリューションで勝つ」を基本方針にした活動を国内では展開しております。海外においては世界15ヵ国21社の関係会社と連携し販売拡大を図るとともに、「イワキグループ10年ビジョン」の定量目標「2025年3月期連結売上高400億円、営業利益率10%」達成に向け、「オールイワキで世界No. 1を提供する」の方針のもと、各種施策の実行に取り組んでまいりました。

その結果、市場別では全ての市場が好調に推移しました。中でも医療機器市場は中国向けをはじめ、国内、米国向けの売上が好調に推移した結果、売上高は6,183百万円（前年同期比64.0%増）と全体の牽引役となっております。その他強化市場の売上は、水処理市場が7,616百万円（前年同期比14.8%増）、半導体・液晶市場が6,342百万円（前年同期比17.9%増）、新エネルギー市場が889百万円（前年同期比64.1%増）となります。

地域別では、国内は、医療機器市場を中心に伸長した結果、売上高は15,558百万円（前年同期比8.6%増）となりました。海外では、米国は水処理市場、医療機器市場が牽引した結果、売上高は5,246百万円（前年同期比14.4%増）となりました。欧州は化学市場を中心に好調に推移し、売上高は4,188百万円（前年同期比25.1%増）となりました。アジア地域は、台湾の半導体・液晶市場、表面処理装置市場の売上不調が続いている他、韓国半導体・液晶市場向けへの一部出荷調整の影響もあり、売上高は2,003百万円（前年同期比14.5%減）となりました。中国は、中国子会社の業績寄与影響もありますが、半導体・液晶市場、医療機器市場を中心に大幅増収となった結果、売上高は5,244百万円（前年同期比304.9%増）となりました。

製品別では、主力製品であるマグネットポンプ、定量ポンプは好調を維持しており、医療機器市場をメインとする回転容積ポンプは売上高2,304百万円（前年同期比75.2%増）と大幅増収の結果となりました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は33,683百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

前第4四半期連結会計期間より新たに損益取り込みとなった中国子会社の影響や新規連結以外の増収効果などもあった結果、営業利益は4,525百万円（前年同期比139.5%増）となりました。中国子会社化に伴い営業外収益の持分法による投資利益が減少したことや、為替差益の減少、前期は一過性の営業外収益（米国子会社における受取還付金）があったことから、経常利益は5,124百万円（前年同期比48.8%増）となりました。前第3四半期連結累計期間は特別利益の段階取得に係る差益の発生があったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,618百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

なお、当社グループはケミカルポンプ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は37,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,170百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が872百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が947百万円、商品及び製品が576百万円、仕掛品が2,661百万円増加したことによるものであります。固定資産は13,009百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が41百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は50,367百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,115百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は15,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,334百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が971百万円、未払法人税等が540百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,526百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が155百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は17,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,196百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は32,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,919百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が2,407百万円、為替換算調整勘定が1,382百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.7%（前連結会計年度末は63.4%）となりました。

なお、第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年

度末との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日開示の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,927,985	9,800,150
受取手形、売掛金及び契約資産	7,010,044	7,957,157
電子記録債権	4,497,381	4,963,334
有価証券	—	150,858
商品及び製品	5,650,511	6,226,686
仕掛品	141,397	2,802,664
原材料及び貯蔵品	5,228,772	4,475,083
その他	798,971	1,062,837
貸倒引当金	△67,781	△81,153
流動資産合計	32,187,283	37,357,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,144,787	8,344,716
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,202,592	△4,446,657
建物及び構築物（純額）	3,942,195	3,898,058
機械装置及び運搬具	3,496,770	3,722,868
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,997,027	△3,156,887
機械装置及び運搬具（純額）	499,743	565,981
工具、器具及び備品	2,276,945	2,448,434
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,902,462	△2,017,814
工具、器具及び備品（純額）	374,483	430,620
土地	1,049,205	1,057,523
リース資産	346,955	334,749
減価償却累計額	△199,803	△185,019
リース資産（純額）	147,151	149,730
建設仮勘定	42,148	94,830
その他	760,975	782,436
減価償却累計額	△379,543	△437,724
その他（純額）	381,432	344,711
有形固定資産合計	6,436,360	6,541,455
無形固定資産		
のれん	2,345,822	2,390,880
商標権	19,672	12,677
その他	1,084,045	800,353
無形固定資産合計	3,449,539	3,203,911
投資その他の資産		
投資有価証券	1,397,352	1,356,229
繰延税金資産	615,044	643,573
退職給付に係る資産	789,245	801,610
その他	376,774	463,184
投資その他の資産合計	3,178,417	3,264,598
固定資産合計	13,064,318	13,009,965
資産合計	45,251,601	50,367,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,687,101	3,925,060
電子記録債務	4,307,453	5,278,822
短期借入金	1,170,500	994,038
1年内返済予定の長期借入金	155,000	155,000
リース債務	116,468	115,543
未払法人税等	331,446	872,441
契約負債	652,603	580,711
賞与引当金	1,203,618	852,972
役員賞与引当金	325,307	98,272
製品保証引当金	100,995	95,645
その他	1,666,901	2,083,335
流動負債合計	13,717,396	15,051,843
固定負債		
長期借入金	1,167,500	1,012,500
リース債務	118,987	122,652
繰延税金負債	56,559	13,208
退職給付に係る負債	82,552	94,613
資産除去債務	222,551	223,361
その他	1,016,606	1,060,035
固定負債合計	2,664,758	2,526,372
負債合計	16,382,155	17,578,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044,691	1,044,691
資本剰余金	674,127	713,604
利益剰余金	25,531,082	27,938,662
自己株式	△519,765	△411,088
株主資本合計	26,730,134	29,285,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	530	1,450
為替換算調整勘定	1,157,911	2,540,642
退職給付に係る調整累計額	817,833	740,719
その他の包括利益累計額合計	1,976,275	3,282,812
非支配株主持分	163,036	220,687
純資産合計	28,869,446	32,789,370
負債純資産合計	45,251,601	50,367,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	27,126,489	33,683,707
売上原価	17,947,004	19,804,786
売上総利益	9,179,484	13,878,920
販売費及び一般管理費	7,290,005	9,353,628
営業利益	1,889,479	4,525,292
営業外収益		
受取利息	1,538	33,755
受取配当金	16,903	19,053
持分法による投資利益	951,807	498,840
為替差益	235,614	35,298
受取還付金	325,638	—
その他	57,029	109,673
営業外収益合計	1,588,532	696,621
営業外費用		
支払利息	23,532	60,718
支払手数料	5,973	18,128
譲渡制限付株式報酬償却損	406	—
繰延報酬制度に係る費用	—	14,832
その他	3,837	3,577
営業外費用合計	33,750	97,256
経常利益	3,444,261	5,124,657
特別利益		
投資有価証券売却益	5,621	3,796
段階取得に係る差益	1,227,206	—
その他	231	910
特別利益合計	1,233,058	4,706
特別損失		
固定資産除却損	1,092	3,371
固定資産売却損	—	55
特別損失合計	1,092	3,427
税金等調整前四半期純利益	4,676,226	5,125,937
法人税等	627,557	1,397,280
四半期純利益	4,048,669	3,728,656
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,239	110,361
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,024,429	3,618,295

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,048,669	3,728,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,454	557
為替換算調整勘定	1,165,016	1,308,288
退職給付に係る調整額	△82,573	△77,114
持分法適用会社に対する持分相当額	44,347	84,876
その他の包括利益合計	1,124,335	1,316,607
四半期包括利益	5,173,004	5,045,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,143,642	4,924,833
非支配株主に係る四半期包括利益	29,361	120,431

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

当社は棚卸資産のうち、製品、商品及び原材料に係る評価方法は、従来、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しておりましたが、当第3四半期連結会計期間より、商品及び原材料に係る評価方法は、主として、月次総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に、製品に係る評価方法は、主として、先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に変更しております。

この評価方法の変更は、2023年10月1日に新基幹システムを導入したことを契機に、より精緻な原価管理を目的として実施したものであります。

なお、過去の連結会計年度について、変更後の評価方法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高とみなして計算を行っております。

また、この会計方針の変更による当第3四半期連結財務諸表への影響額は、軽微であります。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

新基幹システムの稼働開始に伴い、棚卸資産のより精緻な管理が可能となったため、棚卸資産の区分を見直しております。前連結会計年度において主として「原材料及び貯蔵品」として区分していたものの一部を、当第3四半期連結会計期間より「仕掛品」として計上しております。

なお、表示方法の変更に関する原則的な取扱いについては、過去の情報について変更後の区分に合わせた詳細情報を把握することが実務上不可能であるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っておりません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2022年9月30日に行われた易威奇有限公司及び易威奇泵业国际贸易（上海）有限公司との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額2,365,446千円は、会計処理の確定により515,141千円減少し、1,850,305千円となっております。のれんの減少は、無形固定資産その他が687,421千円、繰延税金負債が146,460千円、非支配株主持分が25,818千円増加したことによるものです。

また、前連結会計年度末ののれんは466,017千円、繰延税金資産は40,110千円、利益剰余金は140,689千円それぞれ減少し、無形固定資産その他は447,563千円、繰延税金負債は56,559千円、為替換算調整勘定は7,425千円、非支配株主持分は18,140千円それぞれ増加しております。